

令和元年度（平成31年度）事業報告

1 事業の状況

(1) 公益目的事業 1

植村直己の業績についての展示公開に関する事業(定款第4条第1号関係事業)

【植村冒険館の管理運営】

① 植村冒険館の運営

所在地 東京都板橋区蓮根2-21-5

建物 延床面積518.77㎡

展示室 76.60㎡、情報コーナー 42.70㎡

開館時間 午前10時～午後6時

開館日数 282日〔休館日：月曜（祝日のときは火曜）、年末年始〕

来館者数 15,111人（53.6人/日）

入館料 無料

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3月2日～31日臨時休館を実施

② 情報コーナー資料収集整備

情報コーナー利用者数 8,613人（30.5人/日）

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3月2日～31日臨時休館を実施

資料数（令和元年度末）

・書籍 8,959冊（前年度8,781冊）

・定期刊行物 6種

・山岳団体会報・報告書等 40団体 310部

③ その他の事業

ア 広告掲出（国際興業バス車内放送）

イ 区民まつり会場でのPR活動（豊岡市植村直己冒険館と共同出店）

ウ 加盟関連団体

日本山岳会、東京都博物館協議会

エ 植村冒険館友の会

会員数 令和元年度末 260人（前年279人）

オ その他の取材等協力

撮影協力：「南極大陸国際犬ぞり横断隊」の撮影・取材対応

取材協力：日経新聞ほか8件

情報提供：セイコーウオッチが植村氏を広告で起用するにあたり、必要な情報を提供したほか、事実確認等を行った。

カ 遺品の貸出
なし

【資料収集・保存及び調査・研究】

① 遺品等の収集及び保存

ア 収集資料累計 1,860点 (設立時 1,604点)

イ 収集資料：6件

a 曾我部博士氏所蔵の資料

植村氏出演番組の台本、北極圏1万2千キロの冒険中の絵はがき、色紙、サイン入り著書など

b 前財団評議員中出水勲氏所蔵の図書

② 所蔵遺品の点検

ア 展示終了後、1984年マッキンリーの装備をトランクルームへの収蔵

イ 関係者(大塚博美氏、平野眞市氏)所蔵資料の内容調査

③ 業績・関係者に関する調査

雑誌、放送番組、来館者、外部からの問い合わせに対する調査と情報提供

【展示事業】

植村冒険館：通年開催 (248日)

入室者数 6,498人 (26.2人/日)

*新型コロナウイルス感染症予防対策のため、3月2日～31日臨時休館を実施

① 植村冒険館企画展

回数	タイトル	期間	入室者数
	内容		
継続開催	メモリアル展 山頂に残された旗 ～マッキンリーに消えた植村直己の足跡～	*2月1日から 継続開催	411人 31.6人/日
	マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介した。また、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。	4月1日～ 4月16日 (13日間)	

回数	タイトル	期 間	入室者数
	内 容		
1	エベレスト偵察から50年 ～世界最高峰に挑む～	4月26日～ 6月30日 (58日間)	1,411人 24.3人/日
	日本初のエベレスト遠征の偵察隊に植村氏が2回とも参加した。その偵察活動から50年を迎えるのを記念し、その活動の詳細を紹介した。		
2	冒険で世界一周 ～植村直己が歩いた世界の町～	7月12日～ 9月23日 (64日間)	2,055人 32.1人/日
	24歳の時に片道切符を手に日本を飛び出した植村氏の足跡を、登山だけでなく世界中の町を旅した様子にも注目してその足跡を紹介した。		
3	収蔵品展 冒険家の押し入れ ～植村直己愛用の品々～	10月4日～ 翌年1月21日 (87日間)	1,788人 20.6人/日
	冒険で使用した装備などの道具ではなく、冒険に必要と考えられた書籍や地図、トレーニング道具など、植村氏の人物像や日常が垣間見える資料に焦点を当て、展示会を構成した。		
4	メモリアル展 山頂に残された旗 ～マッキンリーに消えた植村直己の足跡～	2月1日～ 3月1日 (26日間) *3月2日から 3月31日まで 臨時休館 *5月17日まで 継続開催	833人 32.0人/日
	マッキンリー山中で発見された最後の装備を紹介した。また、日記の内容(パネルによる複製)を公開した。平成8年度より毎年2月を「メモリアル月間」として最後の装備を紹介している。		

② その他の展示

ア 板橋区立少年自然の家八ヶ岳荘「植村直己展示室」(展覧開始・通年)

イ 板橋区立榛名林間学園・板橋区立赤塚体育館での「写真展」(通年)

ウ 板橋区小茂根図書館

「冒険家・植村直己の足跡」

期間：11月2日～11月7日(6日間)

エ 学校展示/高島第一中学校

「冒険家・植村直己の足跡」

期間：1月18日(学校見学会) 生徒数：405人

オ 小学生向け自由研究「地球たんけんパスポート」配布

期間：7月20日～9月1日(38日間) 225人

カ 「さらなる冒険」スタンプカード配布

「地球たんけんパスポート」の時に登録してスタンプカード発行。これを持参し、3回来館した小学生に景品を贈呈

期間：9月3日～12月27日（※切：9月、11月、12月）

登録者数：201人／景品引き替え：39人

キ 「クール！ザ・冒険館」南極「ミニ」体験

南極の氷と網走の流氷に触る、ミニ・ブリザードの中で風速を測る、観測隊員の防寒服を着て記念撮影など、展示室内で南極「ミニ」体験を実施（来館者全員対象）

期間：8月6日～7日（2日間） 292人（展示室入場者）

【公益目的事業1の決算状況】

（単位：円）

事業項目		予算額	決算額
植村直己の業績についての展示公開に関する事業		31,463,000	26,114,889
内 訳	(1)冒険館の管理運営	23,700,000	21,189,763
	(2)資料収集・保存及び調査・研究	1,105,000	837,110
	(3)展示公開	6,658,000	4,088,016

(2) 公益目的事業2

自然への関心を高めるための実体験事業（定款第4条第2号関係事業）

① 自然塾の実施

小・中・高校生を対象に、自然の中での活動を通じて、「ウエムラ・スピリット」に通じる強く生きるための力、人間らしい生き方を学んだ。

実施回数10回（全13回 中止3回） 参加者228人

【実施プログラム】

回数	プログラム名	実施月日 及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
1	海拔0mから東京都最高峰を目指せ！ ～東京湾から雲取山の頂へ～ （中高生）	4月27日 ～5月1日 【4泊5日】	中高生 15人
	東京湾～雲取山 マウンテンバイクで東京湾（海拔0m）から奥多摩湖、そこからテントも食料も担いで東京都最高峰を目指した。仲間と共に自分の限界に挑戦した。		

回数	プログラム名	実施月日 及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
2	沢登りキャンプ ～プチャワークライミングに挑戦～ (小学4年生～高校生)	6月22日 ～23日 【1泊2日】	小学生 24人 中高生 6人 計30人
	日影沢キャンプ場周辺(日影沢、小下沢) 本格的な道具(ヘルメット、ウエットスーツ、ライ フジャケット)を身に付け、沢登りに挑戦した。		
3	日本一に挑戦!富士山登山 (小学4年生～高校生)	7月23日 ～25日 【2泊3日】	小学生 16人 中高生 7人 計23人
	富士山、国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場 市) 1日目は登山の準備をし、2日目には富士宮口五 合目からスタートし、宝永火口を通り、3日目には 山頂を目指し、参加者全員で富士山の山頂に立 つことができ、仲間と富士山の雄大な自然を体験 することができた。		
ステップアップアドベンチャー(小学4～6年生) 3回/全4回の継続プログラム			
4	【第1回】ファーストチャレンジ	9月15日 【1日】	小学生 28人
	黒川青少年野外活動センター(神奈川県川崎市) ステップアップアドベンチャー第1回目。ガスス トープを使い料理をし、アウトドアスキルの基礎を学 び、チームの仲間たちと親睦を深めた。		
5	【第3回】ヤブこぎチャレンジ	11月10日 【1日】	小学生 26人
	日和田山周辺(埼玉県日高市) コンパスと地図だけをたよりに道なき道を進み、小 高い山の頂上を目標にルートを探し、チームごとに 計画を立て行動した。		
6	【第4回】ナイトハイクチャレンジ	12月26日 ～27日 【2泊3日】	小学生 23人
	大山周辺・クアハウス山小屋キャンプ場 山頂からの日の出を目指して、ナイトハイクに挑戦 した。チームで計画し、ステップアップで学んだこ とを発揮する集大成の場となった。		

回数	プログラム名	実施月日 及び期間	参加者数
	実施場所及び内容		
7	フィッシングでサバイバルキャンプ (中高生)	11月2日 ～4日 【2泊3日】	中高生 15人
	野島公園キャンプ場（神奈川県横浜市） 魚釣りキャンプ。自分たちで食材（魚）を調達し、 自分たちで調理をした。テント泊をしながら、行動 計画もすべて自分たちでやり遂げるサバイバルに 挑戦してもらった。		
8	スノーキャンプ ～みんなでイグルー村を作ろう～ (小学4年生～高校生)	1月5日 ～7日 【2泊3日】	小学生 20人 中高生 3人 計23人
	国立妙高青少年の家（新潟県妙高市） 白銀の世界での遊びと生活を楽しんだ。エスキモー が狩猟のため居住したイグルーを作り、一泊に挑戦 した。		
9	高峰高原スノーシューハイクに挑戦！ (小学4年生～高校生)	1月25日 ～26日 【1泊2日】	小学生 6人 中高生 2人 計8人
	※伊豆大島まるごとキャンプの代替プログラム 高峰高原ホテル、高峰山周辺 高峰高原でスノーシューハイクに挑戦した。 自分のペースで雪山を登り、雪の楽しみ方を学ん だ。		
10	自分の限界に挑戦！オーバーナイトウォーキング (小学4年生～高校生)	2月22日 ～23日 【0泊2日】	小学生 21人 中高生 16人 計37人
	小学生：新河岸駅から植村冒険館までの30km 中高生：森林公園駅から植村冒険館までの50km 毎年恒例の徹夜歩行。寒さと眠気に耐え、参加者全 員が完歩した。		

【中止プログラム】

回数	プログラム名	実施予定月日 及び期間	参加 決定者数
	実施場所及び内容（予定）		
	中止となった理由（原因）		
1	伊豆大島まるごとキャンプ (小学4年生～高校生)	8月14日 ～18日 【4泊5日】	小学生 30人 中高生 13人 計43人
	伊豆大島、トウシキキャンプ場 計画では、三原山登山、釣り、シュノーケリングな どを通して、伊豆大島特有の自然をまるごと体感し てもらおう予定だった。		
	台風10号接近のため		
2	ステップアップアドベンチャー（小学4～6年生） 【第2回】 レベルアップチャレンジ	10月13日 ～14日 【1泊2日】	小学生 28人
	三浦ふれあいの村（神奈川県三浦市） 計画では、シーカヤックを操って、大海原へと出て、 どこまでも続く海の上に浮かび、海から見る景色を 楽しんでもらう予定であった。		
	台風19号のため		
3	クロスカントリースキーに挑戦！ (小学4年生～高校生)	3月26日 ～28日 【2泊3日】	小学生 23人 中高生 8人 計31人
	国立磐梯青少年交流の家（福島県耶麻郡） 計画では、クロスカントリースキーに挑戦。林のな かを自分たちでコースを作りながら滑る予定だっ た。		
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため		

② アドベンチャー講座等の実施

ア アドベンチャー講座

成人を対象とした自然体験講座を実施し、自然との触れ合い及び人と自然との関わりを体得する機会を提供した。登山を安全に楽しむための正しい知識の普及と、自然を慈しむ精神を養うとともに、植村直己の冒険心についての理解を深めるための講座を実施した。

実施回数5回 参加者 115人

【実施プログラム】

	実施月日	実施場所	種別	参加	リーダー・講師
1	5月18日～19日	天丸山・志賀高原	登山	35	節田重節・山口章
2	7月26日～29日	黒部五郎岳	登山	24	節田重節・原邦三
3	9月7日～9日	燧ヶ岳・尾瀬ヶ原	登山	18	大谷映芳
4	10月5日～6日	飯縄山・戸隠山	登山	25	原邦三
5	翌年2月29日 ～3月1日	八ヶ岳牛首山・ 瑞牆山	雪山 登山	13	天野和明ほか3名

イ 初心者のための登山講座

新たに登山を始めるきっかけづくりや、安全で楽しい登山が行えるよう正しい知識や技術の習得を目指す方を対象に、初日は机上講座、二日目は実際に登山に挑戦し、基礎知識や技術の習得をする機会の提供を行ったが、全回とも最少催行人員未満であったため催行の中止をした。(各回定員：21名)

【中止プログラム】

	実施予定月日	実施予定内容	講師
1	6月15日～16日	講演：植村直己 人と冒険の軌跡 登山：荒船山	節田重節 山口章
2	8月24日～25日	講演：植村直己と私の別れ 登山：浅間連峰・高峯山	大谷映芳 山口章
3	9月28日～29日	講演：極地探検史としての植村直己 登山：湯ノ丸山から烏帽子山	渡邊 興亞 山口章
4	11月16日～17日	講演：デナリ気象観測 登山：湯ノ丸山から烏帽子山	大蔵喜福 山口章

※ 宿泊予定場所：安藤百福センター（長野県小諸市）

【公益目的事業2の決算状況】

(単位：円)

事業項目		予算額	決算額
自然の中での実体験事業		14,502,000	8,152,579
内訳	(1) 青少年対象「自然塾」	11,621,000	7,086,629
	(2) 一般対象「アドベンチャー講座」	2,881,000	1,065,950

*参加者負担金収入額合計 = 899,235 円
アドベンチャー講座 : 899,235 円

(3) 収益事業等（その他の事業1）

その他、目的を達成するために必要な事業（定款第4条第3号関係事業）

【関連物品販売事業】

植村直己著書及び関連図書・DVD・野外活動用品等を来館の記念として販売

・グッズ等販売収入合計	=	1,164点（28種）	902,049円
（内訳）			
図書：		122点	139,321円
DVD：		37点	121,595円
物品：		1,005点	641,133円

【収益事業等の決算状況】

（単位：円）

事業項目	予算額	決算額
関連物品販売事業	2,007,000	1,910,066